

令和6年度名張市総合防災訓練の考え方

令和6年5月15日
総務企画委員会協議会資料②
なばりの未来創造部 危機管理室

想定する災害

- 1 南海トラフ地震（震度6弱想定）
- 2 激甚化・頻繁化する豪雨災害

防災訓練の目的

- ・市全体の防災意識の高揚
- ・防災諸行動の習熟

令和5年度総合防災訓練

時期：令和5年11月18日（土）

出水期等を考慮して、例年11月第3土曜日の午前中を選定
小中学校は訓練当日を授業日として、地域と小中学校との連携を促進

訓練内容

- 〈市災害対策本部による訓練〉
 - 1 市災害対策本部設置・運営訓練
 - 2 消防本部との合同訓練等
- 〈その他市各所管における訓練〉
 - 1 多数傷病者への対応訓練
 - 2 応急給水訓練
 - 3 応急危険度判定訓練
- 〈各地域づくり組織における訓練〉
 - 1 安否確認及び報告訓練
 - 2 地域対策本部の設置運営訓練
 - 3 消防団、小中学校との連携
 - 4 自衛隊の訓練参画

令和5年度総合防災訓練の課題等

課題と対応の方向性

市訓練の課題と対応の方向性

- 1 災害対策本部開設場所・要領の検討
→なばりの未来創造部、庁議室の活用
- 2 災害対策本部と各部の情報共有促進
→メール・FAX等各種手段の併用
- 3 訓練想定の見直し
→大規模震災を焦点にした訓練想定
- 4 各部局の機能ごとの実効性の向上
→機能別訓練の実施

地域づくり組織における訓練の課題と対応

- ・地震への対応に係る意識の高まり
→地震に焦点を当てた訓練の実施

近年の災害の教訓

能登半島地震等の教訓への対応

- 1 安否確認訓練による犠牲者の抑制
- 2 共助による倒壊家屋からの救助
- 3 道路損壊による孤立化
- 4 防災行政無線の有効性の再確認、特設公衆電話の認知度はやや低調
- 5 避難所における多様な課題

基本的訓練継続の有用性・必要性を再確認

令和6年度総合防災訓練

時期：令和6年11月16日（土）

訓練内容

令和5年度の訓練に準じた内容

- 〈市災害対策本部による訓練〉
 - 1 新たな市災害対策本部の設置等の訓練
 - 2 消防本部との合同訓練
 - 3 通信訓練
- 〈その他市各所管における訓練〉
 - 1 安否確認訓練等基本的な訓練の継続
 - 2 防災行政無線、特設公衆電話操作訓練
 - 3 地震対応訓練（重量物からの救助）取入

訓練計画策定時の着意事項

- 1 災害対策本部の準常設化要領の検討
- 2 災害対策本部・各部の情報共有の促進のための方策の検討
- 3 地域・消防団・学校の更なる連携強化
- 4 多様な避難者への対応に係る訓練（福祉避難所、外国人避難に係る訓練）
- 5 年度を通じた訓練・研修会等の実施（ペット避難、防災航空隊との訓練等）
- 6 南海トラフ臨時情報に係る理解の促進